

# グローバル自動運転 関連株式ファンド (為替ヘッジあり)

【運用報告書(全体版)】

(2020年4月11日から2021年4月12日まで)

第 4 期

決算日 2021年4月12日

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される日本を含む世界の企業の株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

## ■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2017年4月28日から2024年4月10日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される日本を含む世界の企業の株式に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 オートノマス・ピークル・ファンド (JPYヘッジドクラス) 世界の取引所に上場している株式 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■自動運転技術の進化・普及により、業績拡大が期待される世界の企業の株式に投資します。 ■実質的な運用は、リサーチ力に強みのあるニューバーガー・バーマン・グループが行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■年1回(原則として4月10日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

 三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1  
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ  
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976  
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

## グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

### ■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	投資信託証券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込分配金	期中騰落率			
(設定日) 2017年4月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 946
1期(2018年4月10日)	11,077	100	11.8	0.0	98.5	14,590
2期(2019年4月10日)	9,759	0	△11.9	0.0	97.4	25,901
3期(2020年4月10日)	8,924	0	△8.6	0.0	97.8	18,750
4期(2021年4月12日)	16,769	150	89.6	0.0	96.8	42,981

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

### ■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率	投資信託証券組入比率
		騰落率		
(期首) 2020年4月10日	円 8,924	% —	% 0.0	% 97.8
4月末	9,420	5.6	0.0	96.0
5月末	10,165	13.9	0.0	97.3
6月末	10,483	17.5	0.0	97.3
7月末	11,247	26.0	0.0	97.3
8月末	11,871	33.0	0.0	97.0
9月末	11,727	31.4	0.0	97.1
10月末	12,232	37.1	0.0	96.8
11月末	14,247	59.6	0.0	97.3
12月末	14,892	66.9	0.0	99.1
2021年1月末	15,605	74.9	0.0	97.8
2月末	16,147	80.9	0.0	97.2
3月末	16,176	81.3	0.0	95.5
(期末) 2021年4月12日	16,919	89.6	0.0	96.8

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

# 1 運用経過

基準価額等の推移について（2020年4月11日から2021年4月12日まで）

## 基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	8,924円
期末	16,919円 (分配金150円(税引前)込み)
騰落率	+89.6% (分配金再投資ベース)

## 分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

**基準価額の主な変動要因（2020年4月11日から2021年4月12日まで）**

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として自動運転技術の進化・普及により業績拡大が期待される日本を含む世界の企業の株式などに投資しました。外貨建資産については、対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図りました。

**上昇要因**

- 景気の落ち込みに対する各国の大規模な政策対応を受け、グローバル株式市場が上昇したこと

**組入れファンドの状況**

組入れファンド	投資資産	期末組入比率
オートノマス・ビークル・ファンド (JPYヘッジドクラス)	内外株式	96.8%
マネー・マーケット・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について（2020年4月11日から2021年4月12日まで）

当期のグローバル株式市場は上昇しました。

期を通じて上昇基調で推移しました。

期初から2020年後半にかけて、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた経済の落ち込みに対応し、各国政府・中央銀行が大規模な政策対応を打ち出したことが安心材料となりました。また、市場参加者の関心が高かった米国大統領選挙が終了し、政治的な不透明感が払拭されたことも株式市場の支援材料となりました。2021年に入り、新型コロナワク

チンの接種進展による経済活動正常化への期待が高まりました。セクター別では、「コロナ禍からの出口」を織り込む市場環境において、景気感性が高い一般消費財・サービスが特に堅調な動きとなりました。

当期のMSCIワールドインデックス（配当込み、米ドルベース）は期首に比べて50.6%上昇しました。

ポートフォリオについて（2020年4月11日から2021年4月12日まで）

当ファンド

期を通じて、「オートノマス・ビークル・ファンド（JPYヘッジドクラス）」を高位に組み入れました。

オートノマス・ビークル・ファンド  
（JPYヘッジドクラス）

当期のポートフォリオについては、新型コロナワクチンの普及による景気回復期待が高まる中、景気感性が高い資本財・サービスセクターの組入比率を引き上げました。一方、2020年のコロナ禍において相対的に堅調に

推移した情報技術セクターの組入比率を引き下げました。

引き続き、自動運転技術の普及によって業績面で恩恵を受ける自動運転関連企業に注目し、株価バリュエーション（投資価値評価）にも留意した運用を実施しました。グローバル株式市場が大きく上昇する中、当ファンドのリターンはグローバル株式市場を上回りました。個別銘柄では、テスラ（米国、自動車・自動車部品）が大きく上昇し、プラス寄与しました。脱炭素に向けた世界的な機運の高まりが、電気自動車（EV）のリーディング企業である同社株価の追い風になりました。一方で、JDドットコム（中国、小売）が組入れ開

## グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

始以降の期間において下落し、マイナス寄与しました。新型コロナウイルスの感染拡大に伴う生活様式の変化を受けて、Eコマース（電子商取引）を手掛ける同社の株価は大きく上昇しましたが、当期末にかけては当面の利益を確定する動きに押されて株価は軟調に推移しました。

外貨建資産については、対円での為替ヘッ

ジを行い、為替変動のリスク低減を図りました。

### マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

### ベンチマークとの差異について（2020年4月11日から2021年4月12日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

### 分配金について（2020年4月11日から2021年4月12日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第4期
当期分配金	150
（対基準価額比率）	（0.887%）
当期の収益	150
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	6,769

当期の1万口当たりの分配金（税引前）は、基準価額水準等を勘案し、150円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。  
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」（税引前）の期末基準価額（分配金（税引前）込み）に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

## 2 今後の運用方針

### 当ファンド

引き続き、「オートノマス・ビークル・ファンド（JPYヘッジドクラス）」を高位に組み入れて運用を行います。

### オートノマス・ビークル・ファンド （JPYヘッジドクラス）

新型コロナウイルスの感染状況は国や地域によってばらつきはあるものの、足もとでは爆発的な感染拡大は抑制されているとみています。今後はワクチン接種の拡大とともに、経済活動の正常化が加速し、グローバル経済は回復基調を強める可能性があります。景気

の回復は、自動車販売の増加等を通じて自動車関連企業の業績に追い風になるものと期待されます。加えて、世界的な脱炭素に向けた取り組みの加速が、自動運転やEV関連銘柄に成長機会をもたらすと考えます。引き続き自動運転技術の普及の恩恵を受け、構造的な成長が期待できる銘柄に投資する方針を維持します。

外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行い、為替変動のリスク低減を図ります。

### マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## 3 お知らせ

### 約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細（2020年4月11日から2021年4月12日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	161円	1.250%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×（経過日数／年日数）
（投信会社）	(50)	(0.387)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(107)	(0.830)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(4)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.001)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	162	1.257	

期中の平均基準価額は12,851円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

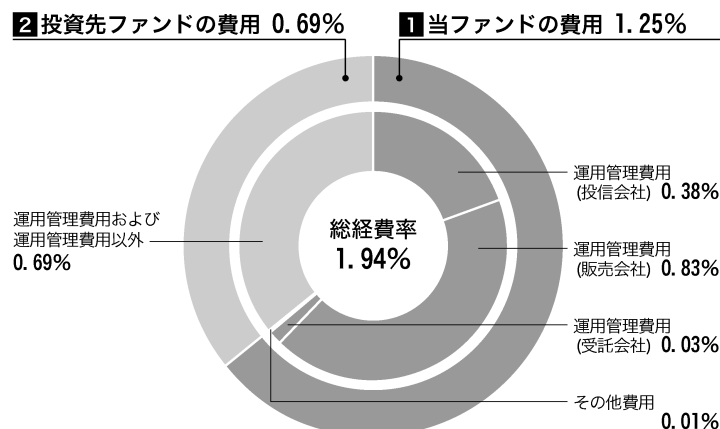
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「損益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率（年率換算）



総経費率 (■ + ■)	1.94%
■ 当ファンドの費用の比率	1.25%
■ 投資先ファンドの費用の比率	0.69%



## グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は1.94%です。

### ■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年4月11日から2021年4月12日まで)

#### 投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
		口	千円	口	千円
国内	オートノマス・ビークル・ファンド（JPYヘッジドクラス）	1,053,488	18,050,600	741,759	9,253,300
	合 計	1,053,488	18,050,600	741,759	9,253,300

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

### ■ 利害関係人との取引状況等(2020年4月11日から2021年4月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

### ■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年4月11日から2021年4月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

## グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

### ■ 組入れ資産の明細 (2021年4月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
オートノマス・ビークル・ファンド (JPYヘッジドクラス)	□ 1,967,601	□ 2,279,331	千円 41,588,682	% 96.8
合 計	1,967,601	2,279,331	41,588,682	96.8

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 4,140	千口 4,140	千円 4,141

※マネー・マーケット・マザーファンドの期末の受益権総口数は76,752千口です。

※単位未満は切捨て。

### ■ 投資信託財産の構成

(2021年4月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 41,588,682	% 94.9
マネー・マーケット・マザーファンド	4,141	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	2,230,682	5.1
投 資 信 託 財 産 総 額	43,823,505	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2021年4月12日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	43,823,505,364円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	2,230,680,742
投資信託受益証券(評価額)	41,588,682,913
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	4,141,709
(B) 負 債	842,131,228
未 払 収 益 分 配 金	384,477,224
未 払 解 約 金	282,022,255
未 払 信 託 報 酬	174,688,583
未 払 利 息	5,500
そ の 他 未 払 費 用	937,666
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	42,981,374,136
元 本	25,631,814,986
次 期 繰 越 損 益 金	17,349,559,150
(D) 受 益 権 総 口 数	25,631,814,986口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	16,769円

※当期における期首元本額21,012,091,819円、期中追加設定元本額16,287,465,667円、期中一部解約元本額11,667,742,500円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

（自2020年4月11日 至2021年4月12日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 620,871円
支 払 利 息	△ 620,871
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	10,563,835,093
売 買 益	13,779,986,251
売 買 損	△ 3,216,151,158
(C) 信 託 報 酬 等	△ 303,781,918
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	10,259,432,304
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 2,244,025,688
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,718,629,758
( 配 当 等 相 当 額 )	(△ 1,037,725)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 9,719,667,483)
(G) 計 ( D + E + F )	17,734,036,374
(H) 収 益 分 配 金	△ 384,477,224
次 期 繰 越 損 益 金 ( G + H )	17,349,559,150
追 加 信 託 差 損 益 金	9,718,629,758
( 配 当 等 相 当 額 )	(△ 1,036,723)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	( 9,719,666,481)
分 配 準 備 積 立 金	7,631,515,605
繰 越 損 益 金	△ 586,213

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※期末における、費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(8,015,992,829円)、信託約款に規定される収益調整金(9,719,080,268円)および分配準備積立金(0円)より分配可能額は17,735,073,097円(1万口当たり6,919円)となり、うち384,477,224円(1万口当たり150円(税引前))を分配金額としております。

## ■ 分配金のお知らせ

1 万 口 当 た り 分 配 金 ( 税 引 前 )	当 期
	150円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

## ■ 組入れ投資信託証券の内容

### 投資信託証券の概要

ファンド名	オートノマス・ビークル・ファンド（JPYヘッジドクラス）
形態	ケイマン籍外国投資信託（円建て）
主要投資対象	主として世界の取引所に上場している株式（預託証券（DR）や上場予定を含みます。）に投資します。
運用の基本方針	自動運転 <sup>※</sup> 技術の普及により、業績拡大が期待される企業の株式に投資し信託財産の中長期的な成長を目指します。 ※ドライバー（人間）が行っている様々な運転操作をシステムが行うことを指します。 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。
主な投資制限	・ 有価証券の空売りは行いません。 ・ 同一銘柄の株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
決算日	原則、毎年6月30日
配分方針	毎年4月1日（休業日の場合は翌営業日）に配分を行う方針です。 ただし、配分を行わないことがあります。
運用管理費用	運用報酬 年0.6%程度 受託会社報酬 年0.01%程度 事務代行費用 年0.05%程度 ※上記のほか、管理および保管に要する費用などがかかりますが、運用状況等により変動するものであり、事前に料率等を示すことができません。また、年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。
その他の費用	ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。これらは、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
投資顧問会社	ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズ・エル・エル・シー
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

「オートノマス・ビークル・ファンド（JPYヘッジドクラス）」をシェアクラスとして含む「オートノマス・ビークル・ファンド」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

■ 損益計算書(2019年7月1日から2020年6月30日まで)

(単位：米ドル)

投資収益	
配当（源泉税 1,344,732米ドル控除後）	5,586,443
利息	266,602
投資収益合計	<u>5,853,045</u>
費用	
投資運用報酬	4,423,617
会計および管理事務代行報酬	344,908
税金関連費用	277,856
トラスティ報酬	73,727
保管報酬	71,478
専門家報酬	62,207
証券代行業報酬	20,255
その他費用	958
費用合計	<u>5,275,006</u>
投資純収益	<u>578,039</u>
実現損益および未実現評価損益：	
実現損益の内訳：	
投資有価証券	38,885,140
外貨取引および為替先渡契約	3,613,569
純実現利益	<u>42,498,709</u>
未実現評価損益の純変動の内訳：	
投資有価証券	72,246,588
外貨換算および為替先渡契約	(6,861,292)
未実現評価損益の純変動額	<u>65,385,296</u>
純実現利益および未実現純評価益	<u>107,884,005</u>
運用による純資産の純増	<u>108,462,044</u>
ユニット取引による純資産の純減少	(199,846,115)
純資産の純減少	<u>(91,384,071)</u>
純資産	
期首残高	803,097,549
期末残高	<u>711,713,478</u>

グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

■ 投資明細表(2020年6月30日現在)

株数	銘柄	時価 (単位：米ドル)
	普通株式 (96.0%)	
	オーストラリア (0.2%)	
	コンピューター (0.2%)	
77,300	Appen, Ltd.	1,804,734
	オーストラリア計 (取得原価 1,850,045 米ドル)	1,804,734
	中国 (2.9%)	
	各種製造 (2.9%)	
1,292,000	Sunny Optical Technology Group Co., Ltd.	20,670,133
	中国計 (取得原価 12,516,127 米ドル)	20,670,133
	フランス (2.5%)	
	ソフトウェア (2.5%)	
101,300	Dassault Systemes SE	17,473,520
	フランス計 (取得原価 15,197,684 米ドル)	17,473,520
	ドイツ (0.8%)	
	セミコンダクター (0.8%)	
236,100	Infineon Technologies AG	5,534,804
	ドイツ計 (取得原価 4,609,671 米ドル)	5,534,804
	アイルランド (4.0%)	
	自動車部品・機器 (4.0%)	
363,900	Aptiv PLC	28,355,088
	アイルランド計 (取得原価 25,637,150 米ドル)	28,355,088
	日本 (6.1%)	
	電子部品 (4.1%)	
156,800	Horiba, Ltd.	8,254,161
357,600	Murata Manufacturing Co., Ltd.	20,932,360
		29,186,521
	各種製造 (1.1%)	
400,000	JSR Corp.	7,710,843
	セミコンダクター (0.9%)	
100,200	Rohm Co., Ltd.	6,630,473
	日本計 (取得原価 38,539,904 米ドル)	43,527,837
	オランダ (8.5%)	
	セミコンダクター (8.5%)	
84,400	ASML Holding NV	31,061,732
255,900	NXP Semiconductors NV	29,182,836
		60,244,568

## グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

株数	銘柄	時価 (単位：米ドル)
	オランダ計（取得原価 39,989,172 米ドル）	60,244,568
	スイス (3.9%)	
	電子部品 (3.9%)	
342,300	TE Connectivity, Ltd.	27,914,565
	スイス計（取得原価 27,938,548 米ドル）	27,914,565
	台湾 (1.6%)	
	セミコンダクター (1.6%)	
207,200	Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. - ADR	11,762,744
	台湾計（取得原価 8,547,542 米ドル）	11,762,744
	英国 (2.3%)	
	広告 (2.3%)	
215,000	IHS Markit, Ltd.	16,232,500
	英国計（取得原価 11,842,816 米ドル）	16,232,500
	米国 (63.2%)	
	自動車 (4.1%)	
461,600	General Motors Co.	11,678,480
16,233	Tesla, Inc.	17,528,556
		29,207,036
	自動車部品・機器 (3.8%)	
83,500	Lear Corp.	9,103,170
263,044	Visteon Corp.	18,018,514
		27,121,684
	広告 (1.3%)	
53,300	Verisk Analytics, Inc. Class A	9,071,660
	電子部品 (16.0%)	
257,400	Amphenol Corp. Class A	24,661,494
678,000	Gentex Corp.	17,472,060
198,900	Keysight Technologies, Inc.	20,045,142
611,200	Sensata Technologies Holding PLC	22,754,976
659,500	Trimble, Inc.	28,483,805
		113,417,477
	保険 (1.0%)	
87,000	Progressive Corp.	6,969,570
	インターネット (5.8%)	
11,749	Alphabet, Inc. Class A	16,660,669
7,075	Amazon.com, Inc.	19,518,652
194,300	Uber Technologies, Inc.	6,038,844
		42,218,165
	機械、建設および鉱業 (0.8%)	
44,000	Caterpillar, Inc.	5,566,000
	セミコンダクター (16.4%)	

## グローバル自動運転関連株式ファンド（為替ヘッジあり）

株数	銘柄	時価 (単位：米ドル)
587,100	Ambarella, Inc.	26,889,180
236,800	Analog Devices, Inc.	29,041,152
33,400	NVIDIA Corp.	12,688,994
1,315,382	ON Semiconductor Corp.	26,070,871
56,000	Texas Instruments, Inc.	7,110,320
146,065	Xilinx, Inc.	14,371,335
		<u>116,171,852</u>
	ソフトウェア (9.7%)	
433,426	Altair Engineering, Inc. Class A	17,228,684
115,700	ANSYS, Inc.	33,753,161
78,300	Autodesk, Inc.	18,728,577
		<u>69,710,422</u>
	通信 (4.3%)	
291,073	T-Mobile US, Inc.	30,315,253
	米国計 (取得原価 372,074,750 米ドル)	<u>449,769,119</u>
	普通株式合計 (取得原価 558,743,409 米ドル)	<u>683,289,612</u>
	新株引受権 (0.0%)	
	米国 (0.0%)	
	通信 (0.0%)	
302,573	T-Mobile US, Inc.	50,832
	米国計 (取得原価 762,106 米ドル)	<u>50,832</u>
	新株引受権合計 (取得原価 762,106 米ドル)	<u>50,832</u>
	短期投資 (3.9%)	
	定期預金 (3.9%)	
	ケイマン諸島 (0.0%)	
138ユーロ	Brown Brothers Harriman & Co. (0.68)% due 07/01/2020	156
2,543香港ドル	Brown Brothers Harriman & Co. 0.04% due 07/02/2020	328
	ケイマン諸島計 (取得原価 484 米ドル)	<u>484</u>
	スウェーデン (3.9%)	
27,257,829米ドル	Skandinaviska Enskilda Banken AB 0.01% due 07/01/2020	27,257,829
	スウェーデン計 (取得原価 27,257,829 米ドル)	<u>27,257,829</u>
	英国 (0.0%)	
21,500,478円	Sumitomo Mitsui Trust Bank, Ltd. (0.25)% due 07/01/2020	199,263
	英国計 (取得原価 199,263 米ドル)	<u>199,263</u>
	定期預金合計 (取得原価 27,457,576 米ドル)	<u>27,457,576</u>
	短期投資合計 (取得原価 27,457,576 米ドル)	<u>27,457,576</u>
	投資有価証券合計 (取得原価 586,963,091 米ドル)	99.9%
	負債を上回る現金およびその他資産	0.1%
		<u>710,798,020</u>
		<u>915,458</u>
	純資産	<u>100.0%</u>
		<u>711,713,478</u>



# マネー・マーケット・マザーファンド

第10期 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

## ■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率 %		
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

## ■当期中の基準価額と市況等の推移

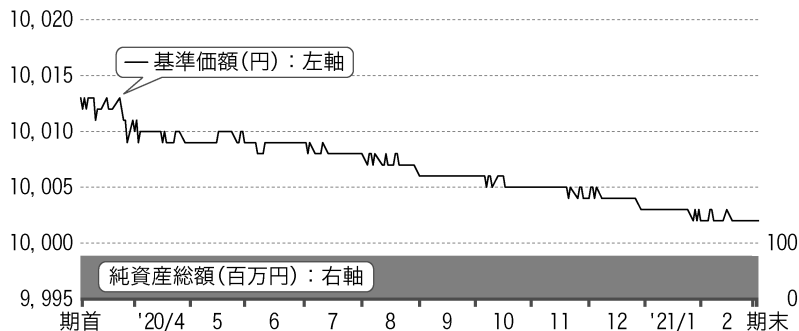
年月日	基準価額		債券組入率比
	円	騰落率 %	
(期首) 2020年3月2日	10,013	-	80.6
3月末	10,010	△0.0	77.0
4月末	10,009	△0.0	76.9
5月末	10,009	△0.0	74.4
6月末	10,009	△0.0	74.4
7月末	10,008	△0.0	74.3
8月末	10,006	△0.1	75.7
9月末	10,006	△0.1	75.7
10月末	10,005	△0.1	75.6
11月末	10,004	△0.1	75.5
12月末	10,003	△0.1	75.7
2021年1月末	10,002	△0.1	75.6
2月末	10,002	△0.1	75.9
(期末) 2021年3月1日	10,002	△0.1	75.9

※騰落率は期首比です。

## 1 運用経過

### ▶ 基準価額等の推移について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

#### 基準価額等の推移



期首	10,013円
期末	10,002円
騰落率	-0.1%

### ▶ 基準価額の変動要因 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

#### 下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

### ▶ 投資環境について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことや、物価上昇率の伸びが下落に転じたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、リス

ク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.4%台まで低下しました。その後、過度な国債需給の引き締めに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。また、政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりました。しかし、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服し、その後は-0.10%を挟んで概ねレンジ内での推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.199%に対し、期末は-0.110%へ上昇しました。

---

### ▶ ポートフォリオについて(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

---

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

---

### ▶ ベンチマークとの差異について(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

---

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

## ② 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続される見込みです。短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は10,006円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 58,705	千円 — (62,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※( )内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況  
(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	58,000 (58,000)	58,278 (58,278)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)
合 計	58,000 (58,000)	58,278 (58,278)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)

※( )内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 ( 除 く 金 融 債 )	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	14,000	14,030	2021/4/30
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	15,000	15,041	2021/5/31
	第142回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	15,000	15,076	2021/8/31
	第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	14,000	14,129	2021/12/28
	合 計	—	58,000	58,278	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	58,278	75.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,881	24.5
投 資 信 託 財 産 総 額	77,159	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

## ■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	77,159,018円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,809,548
公 社 債 ( 評 価 額 )	58,278,230
未 収 利 息	71,240
(B) 負 債	389,247
未 払 解 約 金	389,196
未 払 利 息	51
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	76,769,771
元 本	76,752,334
次 期 繰 越 損 益 金	17,437
(D) 受 益 権 総 口 数	76,752,334口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	10,002円

※当期における期首元本額77,141,454円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額389,120円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(限定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

## ■ 損益の状況

(自2020年3月3日 至2021年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	641,537円
受 取 利 息	656,090
支 払 利 息	△ 14,553
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△716,530
売	△716,530
買	
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,051
(D) 当 期 損 益 金 ( A + B + C )	△ 80,044
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	97,557
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 76
(G) 計 ( D + E + F )	17,437
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	17,437

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ■ お知らせ

### <約款変更について>

該当事項はございません。